

iDeal 数学カリキュラム例

ターム	期間設定	マンツーマン授業	備考	トレーニング講座①	トレーニング講座②	自習	模試等予定
		週1コマ	ねらい	計算力向上 & 内容定着			
3月		2次関数	数ⅠⅡ代数解析系演習	2次方程式	場合の数		
		"		2次関数	"		
		図形と方程式		図形と方程式	確率		
		"		軌跡と領域	"		
春期		三角・指数対数関数		三角関数	三角比		
		"		指数対数関数	"		
		微分・積分(数Ⅱ)		微分	式と証明・高次方程式		
		"		積分	"		
		数列	数Ⅲ極限の準備として	数列	平面図形		
4月		"	↓	数列	"		
		極限	数Ⅲ	極限	ベクトル		
		"		"	"		
		"		"	"		
5月		"		"	集合と論理		駿台記述
		微分		微分	左同		マーク模試
		"		"			
6月		積分		積分			
		"		"			
		"		"			
		行列	数C	行列			
7月		"		"			
		"		"			
		"		"			
		2次曲線		2次曲線			マーク模試
夏		"		"			
		"		"			
		"		"			
		センター総合演習 数ⅠA	第1期センター対策	センター演習	左同		
		"		"			
8月		センター総合演習 数ⅡB		"			
		"		"			
		志望校過去問演習		"			マーク模試
		"		"			
9月		関数系分野	入試標準レベル演習	数ⅢC演習	センター演習		
		"	複数単元を同時に扱う	"	"		
		"		"	"		
		ベクトル・図形系分野		"	"		
10月		"		"	"		
		"		"	"		
		数列・確率系分野		"	"		
		"		"	"		
11月		2次対策総合演習	東工大過去問中心	数ⅡB特定分野演習 (苦手単元中心)	左同		東工大模試
		"		"	↓		
		"		"			
		"		"			
		"		"			
冬		センター直前演習	第2期センター対策	トレーニング講座終了			
		"					
		"					
		"					
1-2月		入試直前演習	入試直前2次対策				センター本番
		"					
		"					
		"					

単元別基礎定着期

入試基礎標準演習期

入試実戦演習期

マンツーマン授業に平行

青チャート

大数スタンダード演習

過去問中心

## 高3春から数学を受講した場合のカリキュラム例

### <状況>

- A) 理工系志望(東工大を志望)
- B) 学校授業の進度が遅い(高2三学期でやっと数ⅡBが終了した程度)。
- C) 中堅レベルの学校では成績上位(偏差55程度)。理解はよいが定着がいまひとつ。
- D) 予備校・他塾等への通塾なし。

### <方針>

- 1、マンツーマンとトレーニングを組み合わせた高速かつスパイラルの複合カリキュラム。
- 2、未習の数ⅢCに関しては効率を考えてマンツーマンで学校授業をフォローUP。
- 3、数Ⅲと数Cでは数Ⅲに優先して授業で扱う。
- 4、夏休み前半までは数ⅢCを含め、単元別学習、その後入試レベルの演習に移行。
- 5、夏休み中のマーク模試と秋の志望校別模試に照準を合わせる。

### <補足>

理系志望の場合、一年間で一通りを扱い、さらに入試対策を経て、そのレベルまで上げていくことはなかなか至難の業だと言える。

だが、iDealの複合カリキュラム、さらにはオプションとしてトレーニング講座を組み合わせれば入試に向けて最速・最短のカリキュラムを作り上げることも可能です。